



発行日平成 23 年 8 月吉日
上尾の活性化を考える会

こうじレポート No44

上尾市議会議員 池野 耕司
上尾市浅間台 4-17-15
TEL: 048-775-8259
FAX: 048-773-6357

被災地・陸前高田市のボランティア活動に参加して (2 回目)

7 月 26 日～28 日に亘って上尾市社会福祉協議会主催の支援活動で、被災地・陸前高田市に総勢 33 名の参加者とともに行ってまいりました。今回は、日常生活の支援活動でした。その概要を報告します。

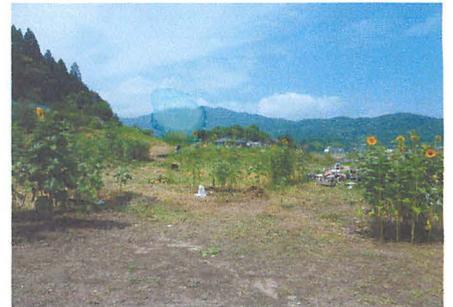
具体的な活動内容は津波により破壊された地域(小友町)の畑の「草刈り」及び津波により流されてきたがれき(瓦・ガラス等)の撤去作業でした。主に草刈りが中心でした。側溝に混入した海砂、瓦、ガラス等の撤去もありました。



草刈りの作業中 (1 日目)



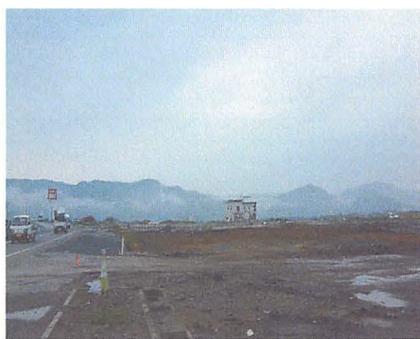
草刈りの作業終了後 (2 日目)



地域の方のお話……「草刈りも以前は隣近所の人達でお互いに手伝い作業をしていたが、今は、人も津波でいなくなり、避難所生活と高齢化の為、ボランティアに頼らざるを得なくなった。今回の支援は大変助かっている。これからは、がれきの整理と新たな家を造る為にがんばらなければなりません。」と話していました。帰りには、奥様が我々の乗ったバスを見えなくなるまで手を振って見送って戴きました。



陸前高田市の中心市街地の状況



田んぼに流された家屋

◎陸前高田市の中心市街地に人影はなく、地域のコミュニティ、人と人とのつながりもなくなり、無残な状況となっています。又、楽しい我が家が、今も多く無残な情景になっており言葉を失いました。涙のでの思いです。

- ① お会いした被災者の方々が、災害で身内や家を失い悲しんでいることは良く分かりました。同時にこれからの苦難な日々に対して新たな壁を乗り越えようとする希望と不安の入り混じった気持ちも強く感じました。
- ② 前回訪問時よりも「がれき」を収集運搬するダンプ、処理する重機も活潑に稼働している状況が目立ちました。
- ③ 場所によっては所有権の消滅した地域も多く、これからの土地利用、街づくりにはまだまだ時間を要することが推測されました。東日本大震災は広域複合災害であり、これからも多くの継続的支援の必要性を感じました。
- ④ ボランティアとして全国から来ておられました。今回は福岡県、富山県、東京都、宮城県、愛知県トヨタ、岩手県の某高校野球部等も参加され、復興・支援に多くの方が関与していることも良く分かりました。

9 月議会は 8 月 30 日 (火) より開催されます。

ご意見・ご要望お待ちしております。